

無料 (ご自由にお持ち帰り下さい)

編集・発行 / 茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター



茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター

〒309-1793 茨城県笠間市鯉淵6528 ☎0296-77-1121 ホームページ <http://www.hospital.pref.ibaraki.jp/chuo/>

2019年
Vol. 34

ほっとタイムズ

病院長メッセージ「がん遺伝子パネルとオーダーメイド治療」 教えてドクターQ&A ロコモティブシンドロームについて



4月から看護局へ新しいスタッフ43名が仲間入りしました。日々研修を行い自己研鑽に努めています。

特集『患者満足度調査アンケート』…2~3

新入職員ご紹介 …… 5

- 循環器統括局長 鈴木 保之
- 消化器外科部長 (下部消化管鏡視下手術担当) 日吉 雅也
- 腫瘍内科医長 兼 副化学療法センター長 菅谷 明德
- 消化器外科医長 工藤 宏樹
- 循環器内科医長 秋山 大樹
- 産婦人科医長 兒玉 理

トピックス …… 6

優良職員表彰

トピックス …… 7

辞令交付式 / 医科歯科連携 / ゆりのき工房

連携医療機関のご紹介 …… 8~9

みと南ヶ丘病院 / 佐々木クリニック
はら歯科クリニック / 森永歯科医院

地域連携だより 各診療科のご紹介 …… 10

血管外科

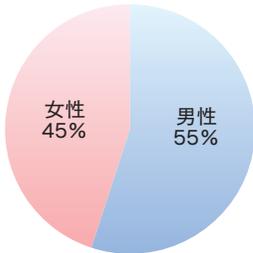
小さな音楽会 / 看護週間 / …… 12

ご意見箱から / 職員募集

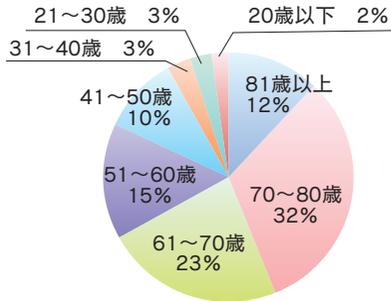
平成30年度 患者さま満足度調査 アン

外来アンケート調査結果 調査実施日：平成30年10月23日(火)・26日(金) 対象人数312人

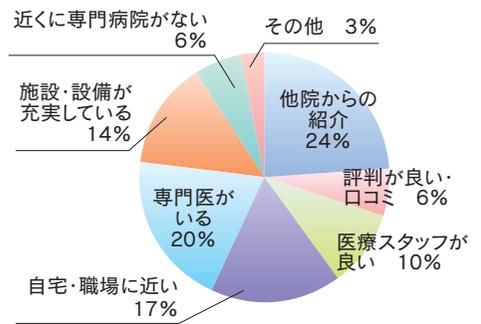
【性別】



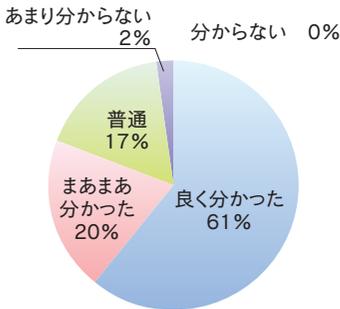
【年齢】



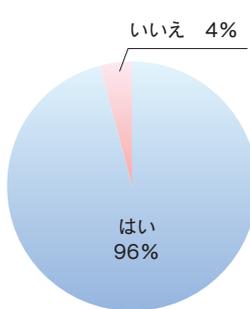
【当院を選んだ理由】



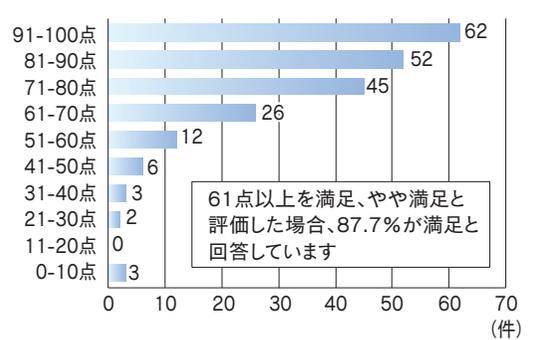
【医師からの病状、治療法、検査、薬に関する説明はわかりやすかったですか】



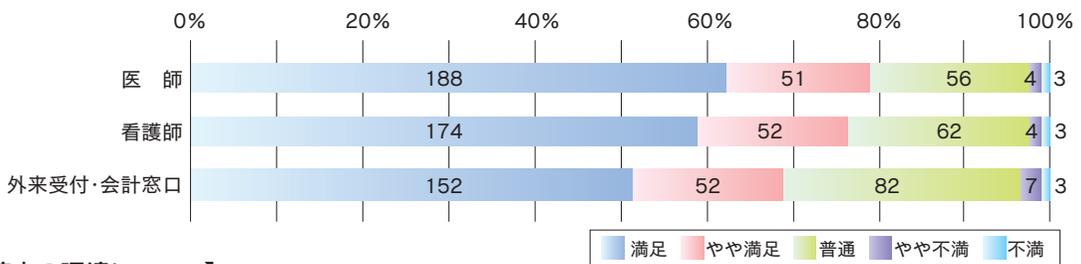
【診察室のプライバシーは守られていましたか】



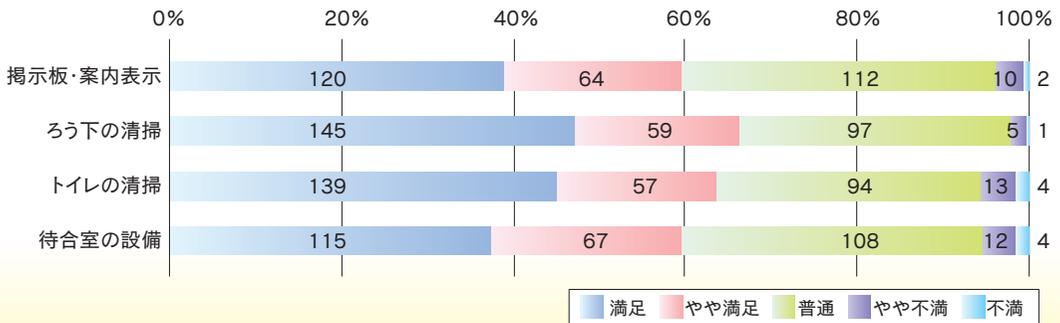
【点数評価では何点ですか (100点満点で評価)】



【職員の対応(礼儀、言葉遣い、態度、身だしなみ)について】



【院内の環境について】



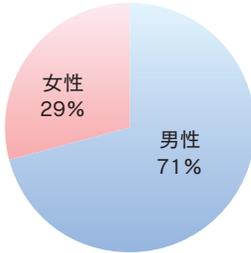
アンケート結果

当院にてアンケート調査を実施いたしましたので、集計結果について皆様
に報告させていただきます。頂きました貴重なご意見をもとに更なるサー
ビス向上を目指し、改善の努力をしております。アンケートにご協力く
ださった皆さま、誠にありがとうございました。

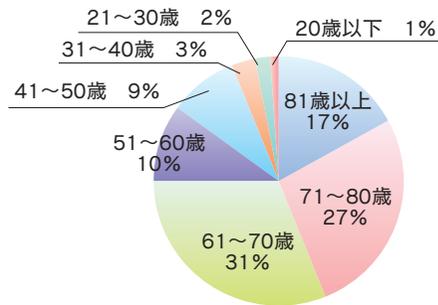
入院アンケート調査結果

調査実施日：平成30年10月25日(木)～31日(水) 対象人数111人

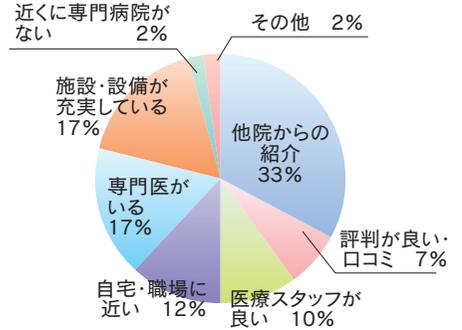
【性別】



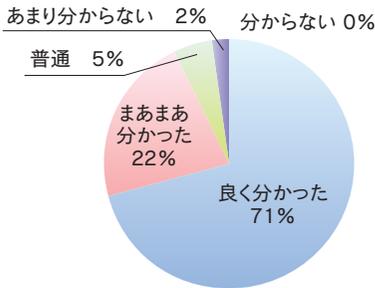
【年齢】



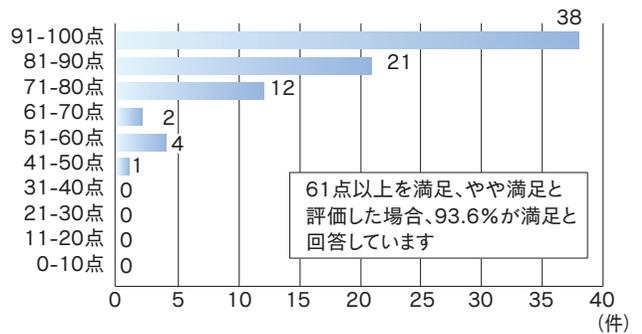
【当院を選んだ理由は何ですか】



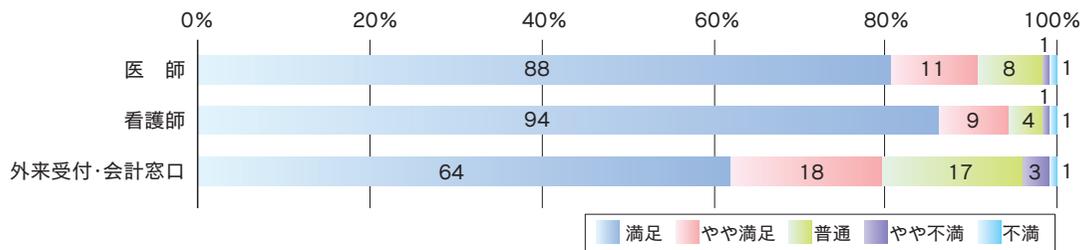
【医師からの病状や治療法、検査や薬に関する説明は分かりやすかったですか】



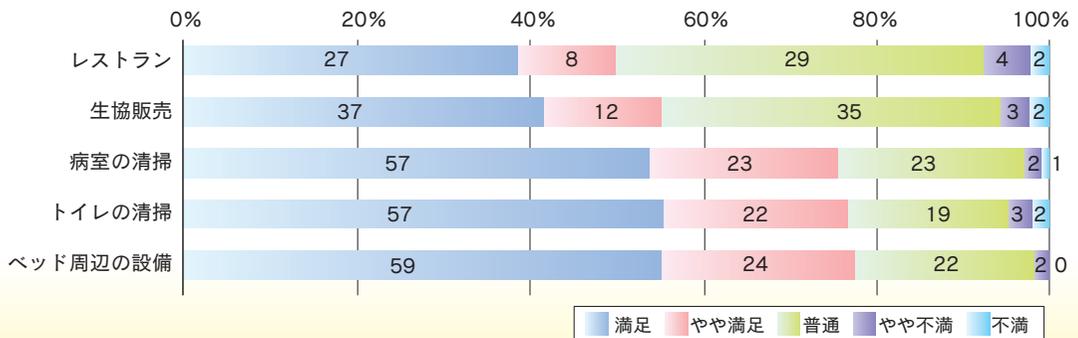
【点数評価では何点ですか(100点満点で評価)】



【職員の対応(礼儀、言葉遣い、態度、身だしなみ)について】



【院内の環境についてどう思われますか】



ロコモティブ シンドロームについて

Q：ロコモティブシンドロームとは？

A：日本語名は「運動器症候群」、略称は「ロコモ」といいます。身体を動かすのに必要な器官、すなわち骨・筋肉・関節・靭帯・腱・神経などから構成されている運動器に障害が起こり、自分で移動する能力が低下して要介護になる危険度が高い状態のことを言います。

Q：ロコモティブシンドロームの予防はなぜ必要なのですか。

A：高齢者の要支援・要介護の原因の第1位が運動器障害です。寝たきりを防ぎ、“健康寿命”を長く保つために必要とされています。

Q：ロコモティブシンドロームの原因は何ですか？

A：変形性関節症、骨粗鬆症、骨折、脊柱管狭窄症、などの疾患や筋力・体力・耐久性の低下、関節可動域低下、関節痛・筋痛といった加齢に伴う機能低下などが原因となります。

Q：簡単なチェック方法がありますか？

A：チェックポイントとして、(1)片脚立ちで靴下が履けない (2)家の中でつまずいたり滑ったりする (3)階段を上るのに手すりが必要である (4)横断歩道を青信号で渡りきれない (5)15分くらい続けて歩けない (6)2キログラム程度の買い物をして持ち帰るのが困難である (7) (布団の上げ下ろしなど) 家のやや重い仕事が困難である この7つのうち1つでもあればロコモの可能性があります。

Q：診断はどのように行われているのでしょうか？

A：“立ち上がりテスト”と“2ステップテスト”による移動機能の状態を調べるテストと“ロコモ25”という質問形式のテストがあります。重症度により、ロコモ度1、2に分けられます。

Q：ロコモティブシンドロームを予防するにはどうしたらいいですか。

A：運動と食事が大切です。運動は、片脚立ち・スクワットといった、ロコモ体操が提唱されています。日常的に運動を取り入れ、継続することが重要です。食事は、いろいろな栄養素を毎日バランスよく摂ることが重要です。骨の強化にはカルシウムやビタミンD、ビタミンK等を含む食品を、また筋肉の強化にはたんぱく質が必要です。タンパク質は20種類のアミノ酸からできており、の中には体内で合成できないアミノ酸もあるため、色々な食品を組み合わせることが大切です。その際、たんぱく質の分解や合成を促進する栄養素のビタミンB6と一緒に取ると効果的です。

Q：ロコモティブシンドロームについてもっと詳しく知ることはできますか。

A：ロコモチャレンジ推進協議会によるロコモティブシンドローム予防啓発サイトから詳しく知ることができます。日本整形外科学会が様々な取り組みを行っていますので、ぜひ情報に耳を傾けてみてください。



鈴木先生から
ひとこと

リハビリテーション科 部長
すずき せいいち
鈴木 聖一 先生

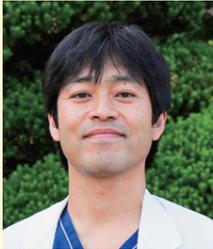
ロコモは、歳をとってからの問題だけではありません。子供の頃からの生活習慣・運動習慣・食生活が重要です。過度な運動や食べ過ぎもよくありません。病院に行ったら『歳だからしょうがない』とだけ言われた。という苦情をよく耳にしますが、年齢に関係なくできる運動はありますので、ご自身にあった方法やご自身のペースで、継続して頂き、少しでもより健康な生活を送って下さい。ロコモの予防は、メタボ予防や認知症予防にも役立ちます。

はじめまして! 新入職員のご紹介



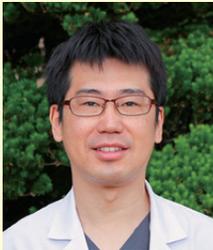
循環器統括局長 ^{すずき やすゆき} 鈴木 保之

今年の4月、循環器統括局長として赴任しました。筑波大学卒業・レジデント終了後は都立小児病院勤務の後17年間弘前大学で過ごし、約30年ぶりに茨城に戻ってきました。心臓外科領域ではあらゆる診療科、看護師、ME、リハビリ、事務の方も含めて患者に関わる全ての職種が連携を取り合う事が重要で、これにより良い医療が提供できると思っています。そのチームの一員として頑張りたいと思いますので、どうぞ宜しくお願いします。



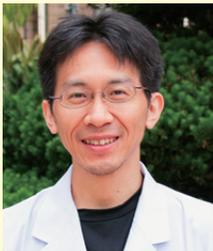
消化器外科部長(下部消化管鏡視下手術担当) ^{ひよし まさや} 日吉 雅也

今年の4月1日付けで外科に赴任してまいりました。予定手術では、主に大腸疾患を担当させていただいております。①腹腔鏡手術による低侵襲治療、②下部直腸癌に対する術前化学放射線療法、③閉塞性大腸癌に対する術前減圧を経た一期的な治療、の3点を診療の軸に据えております。初診から手術までの期間を短くし、地域がんセンターとして県内で最も多く大腸がん手術をする施設を目標に頑張りますのでよろしくお願いたします。



腫瘍内科医長 兼 副化学療法センター長 ^{すがや あきのり} 菅谷 明德

今年の4月から当院の腫瘍内科に赴任となりました菅谷明德と申します。平成23、25年度にも1年間ずつ研修をいたしました縁のある病院です。前任の霞ヶ浦医療センターでは消化器診療に携わってきました。消化器のみならず腫瘍の患者さんの増加とその医療進歩は著しく、抗がん剤とひとえに言っても治療法はより複雑化してきており、茨城県地域がんセンターとしての役割を担いながらやっていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願いたします。



消化器外科医長 ^{くどう ひろき} 工藤 宏樹

平成21年から2年半外科後期研修医として勤務しましたが、このたび7年ぶりに県中に着任いたしました。この間は主に肝胆膵領域に関する外科的診療に携わっております。画像診断、解剖、手術手技、メディカルイラストレーションに興味があります。肝胆膵領域の悪性疾患などお困りのことがありましたら気軽にお声をおかけ頂けたら嬉しいです。令和の時代を皆様と共に駆け抜けていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願いたします。



循環器内科医長 ^{あきやま だいき} 秋山 大樹

2019年4月から当院循環器内科に勤務しております。山梨県甲府市出身ですが、筑波大学入学から数えて茨城県民歴のほうが長くなりました。心臓や血管の病気を診療する循環器内科の中でも、心臓を栄養する冠動脈に狭い所や詰まったところができることで生じる、狭心症や心筋梗塞などの「虚血性心疾患」を専門としております。緊急を要する治療はもとより、予防にも力を入れて、地域の皆様のお役に立てるよう努力してまいります。



産婦人科医長 ^{こだま おさむ} 兒玉 理

2019年4月に赴任してきました。それまで水戸済生会総合病院で約10年間、主に産科診療に携わってきました。県立中央病院は県央県北の婦人科腫瘍分野の中核病院ですが、分娩を再開してからは分娩数も年々増えています。また近隣の総合病院の中でも診療科が多く、幅広い合併症妊娠への対応が期待できる需要のある施設です。婦人科腫瘍分野の充実はもちろんですが、連携してより良い分娩施設も目指していきたいと思っています。

平成30年度一般社団法人茨城県病院協会 病院職員表彰(優良職員)を当院職員8名が受賞

3月26日水戸京成ホテルにて、一般社団法人茨城県病院協会病院職員表彰(優良職員)の表彰式が行われ、当院からは8名が表彰を受けました。この表彰は長年、病院業務に従事し、病院の維持発展に多大な貢献をした職員に贈られるものです。8人の方の長年のご功労に敬意を表し、今後の更なるご活躍をお祈りします。



副看護師長 ^{あみ} 安見 ^{きぬい} きぬい

この度、優良職員の表彰を受けましたことを大変光栄に存じます。関係する皆様の温かいご支援があり、今まで職務に就くことができました。患者様、病院職員の皆様にご恩返しができますよう、邁進したいと存じます。



副看護師長 ^{たかさき} 高崎 ^{ようこ} 陽子

この度、優良職員表彰を受賞できたのは、上司・同僚の支えや家族の協力を得て看護師の仕事を続けてこれたためと感謝しております。今後も、技術と知識を活かし患者様のために尽くしていけたらと考えております。



副看護師長 ^{おおだ} 大和田 ^{さちこ} 幸子

この度、優良職員表彰を頂き光栄に思います。看護職に従事し、患者様や病院関係者からの教えが人生の糧になっていると感じております。感謝の気持ちが更に募り、より一層の努力をしていきたいと思っております。



副看護師長 ^{あいばら} 合原 ^{さちこ} 幸子

優良職員を受賞できたことを光栄に思います。30年間勤務出来たことは、諸先輩方、同僚、家族の支えがあったからだ感謝の気持ちでいっぱいです。今後もこの表彰に恥じないように看護をしていきたいと思っております。



外来主任看護師 ^{すぎもり} 杉森 ^{みさこ} 美佐子

この度は、優良職員表彰をいただきましてありがとうございます。今までも、そしてこれからも、患者様そしてそのご家族様に、喜んでいただけますよう看護師として、日々、努力を重ねて行きたいと思っております。



副看護師長 ^{すずき} 鈴木 ^{りかこ} 利加子

気付けば20年以上の年月が経っていたというのが実情で、喜びと誇りの一方、榮譽ある賞を頂けるに値する功績かと、驚いています。これも上司や同僚の支えによるものと、今後も更なる努力に励みます。



放射線技術科 副放射線技術科長
^{まつもと} 松本 ^{ひろあき} 浩幸

このたび、病院職員表彰を頂けたことは、周囲の方々の協力のお陰と感謝しています。これからも、より良い医療に貢献できるように、微力ながら努力していきたいと思っております。



放射線技術科 副放射線技術科長
^{いいた} 飯田 ^{しゅういち} 修一

このような名誉ある賞を頂戴し、身に余る光栄であります。この賞を受賞できたのも、周りの皆様のお力添えがあつての事であり、深く感謝申しあげます。これからも精進し頑張りますので宜しくお願い致します。

平成31年度 辞令交付式を挙行了しました

4月1日当院にも新入職員が入職いたしました。代表者に辞令が交付されたのち、緊張の面持ちの新入職員に、吉川病院長から「県民に信頼される病院として患者さまに優しく、そして質の高い医療の提供に尽力していただきたい」と式辞が述べられました。



医科歯科連携協定を締結しました



令和元年5月20日、当院は、平成26年度に締結した東西茨城歯科医師会との協定内容を改定し、また新たに水戸市歯科医師会、土浦石岡歯科医師会との医科歯科連携協定を締結しました。

当院では、以前より医科歯科連携に取り組んで来ましたが、今回、隣接する2地区歯科医師会とも協定を締結することで、がん患者様をはじめとする周術期等口腔機能管理の更なる推進や、かかりつけ歯科医師との情報の共有・連携を深め、患者さまが安心して治療を受けられる体制整備に努めてまいります。

ゆりのき工房は縁の下の力持ち



当院では、平成30年度から障がい者雇用を拡大しました。現在では障がいを持つ職員がそれぞれの特性に応じた仕事を行っています。なかでも、ゆりのき工房は病院で使われるものを製作する部署として、新しく設置された工房です。ここでは、障がいをもつ4、5人の職員が、絆創膏や紙製シーツなどを、患者さんに安心・安全に

使っていただける大きさ・形に製作しています。まさに縁の下の力持ち！

また工房には、看護師が交代で相談やアドバイスを行ない、ときにはご家族とも情報交換をしながら、職員が安心して仕事を続けられるように考えています。工房を担当する看護師は、工房の職員が熱心に、真面目に、仕事に取り組んでいる様子に、改めて気づかされることなくたくさんあります。

当院は、障がいをもつ患者さんも多く利用されています。工房の職員との出会いは、そういった患者さんやご家族の生活や仕事を今まで以上に知ることに繋がりました。患者さんに必要な物品の製作から、障がいのある人々への支援の向上まで、今では、ゆりのき工房は中央病院に無くてはならない存在になっています。



ながの ようこ
長野 陽子

看護教育支援室でアンケート集計等、PCで入力などを行いながらゆりのき工房の作業もしています。とてもやりがいがある仕事なので、患者さんや看護師さんのお役に立てるよう頑張っております。

かかりつけ医を
持ちましょう

連携医療機関のご紹介

みと南ヶ丘病院

院長 佐藤 駿吾

地域住民の方々が、安心してかかれる病院、ご満足いただける医療を目指して当地にて30年以上の実績を有します。県立中央病院さまをはじめ主要医療機関との連携を図り、入院、福祉医療等高齢者の方々のサポートをして参ります。特に、患者様の権利と尊厳を遵守するために、十分な説明と納得に基づいた診断と治療方針の決定を行います。診療科目は、内科を主体として最先端の医療を実施すべく専門医を配置しております。特に、胃腸科においては、内視鏡専門医による検査を充実させて健康管理をサポートさせて頂いております。人間ドックをはじめ禁煙外来、もの忘れ相談医としての診療も致しております。また、入院設備：療養病床4床（医療型）があります。



- 所在地：水戸市元吉田町1057-1
- 診療時間：午前9:00～12:15（土曜日は12:30まで）午後15:00～17:30
- 電話：029-248-0373
- 休診日：土曜午後・日曜・祝祭日
- 診療科：内科・循環器科・胃腸科・神経内科・小児科・放射線科◆人間ドック・もの忘れ外来・禁煙外来

佐々木クリニック

院長 佐々木 明

2003年6月に、赤塚駅南口から徒歩5分のビルに開業した診療所です。開業時から、泌尿器科（専門医）・内科・在宅診療（在宅支援診療所）をしています。そして、毎週水曜日に県立中央病院泌尿器科外来を担当しております。当院の特長として、お体が不自由な方、車椅子を利用している方にとっても、来院しやすい入口と段差のないフロアであり、出来るだけ診察が楽にできる、リクライニング電動ベッドを使用しています。そして2010年から電子カルテを導入し、画像の電子化などを通して、患者さん家族の方や、地域の医療機関への診療情報提供に役立っています。診療分野としては、血尿、PSA 高値、排尿障害、男性の性感染症、お年寄りのもの忘れ、認知症診療（認知症サポート医）、禁煙外来、在宅診療などです。そして、訪問看護ステーション・リハビリテーション・ケアマネジャー、訪問薬剤師、地域包括支援センターなどの皆さんとの連携により、在宅医療（看取りを含め）を円滑に行っています。なお、介護保険についての相談も受けております。当院の診療方針は、患者さんを可能な限り全身的な診察に努め、必要な時に、県立中央病院など専門医療機関や、専門医に紹介し、地域の高齢者が地元で長く生活できるように、サポートしていきます。



- 所在地：水戸市河和田1-1828-10 グランスクエア赤塚1F
- 診療受付時間：午前 9:00～12:00
午後15:00～18:30
- 電話：029-252-0551
- 休診日：土曜・日曜・祝日
- 診療科：内科・泌尿器科

ここでは患者さまやご家族の日常的な治療や健康管理を考えてくれる、地域の身近で気軽に相談できるかかりつけ医である医療機関をご紹介します。

はら歯科クリニック

院長 原 英之

平成8年に開院以来23年目を迎える歯科診療所です。歯科一般はもとより口腔内炎症、親知らずの抜歯、インプラントも行っております。最近は特に歯周病や予防歯科に力を入れており、治療が終了してからも2～3ヶ月に一度のメンテナンスを行い、疾病の再発防止に取り組んでいます。また、レーザーによる治療、ホワイトニングも行っています。非常勤で女性歯科医師が勤務し、小児歯科においても、無理やりの治療はせず、丁寧に説明し指導を行うようにしています。県立中央病院との連携を通じて、今後も地域医療に貢献していきたいと思っています。



■所在地：水戸市酒門町1426-1

■電話：029-248-1182

■診療受付時間：午前9:00～12:00 午後14:00～19:00

■休診日：木曜・日曜(第2、第4)・祝祭日

森永歯科医院

院長 森永 桂輔

水戸駅南口を出て徒歩10分、水戸市城南の歯科医院です。医院は祖父の代から50年近くこの水戸の地で診療をさせていただいており、幅広い年代の患者様にご利用いただいております。スタッフは、歯科医師2名・歯科衛生士5名・歯科技工士1名・歯科助手・受付2名がおり、きめ細やかな対応ができるよう、努めております。衛生士の充実を図ることで予防・メンテナンスに力を入れ、歯科技工士が常勤することで、入れ歯の修理や調整・補綴物の作成なども迅速に行うことができます。また、最大の特徴は静脈内鎮静法(静脈麻酔)を保険適応で安心して受けて頂く事ができる点です。静脈麻酔を用いることで、歯科治療に強い恐怖心があり、治療のイスに横になることすらできない方(歯科恐怖症)、嘔吐反射が強くお悩みの方、暴れて治療を受け入れられない小児、高血圧・心臓病など全身的な既往があり血圧・脈拍の変動を抑えたい方、親知らずの抜歯などの外科処置が不安な方にも、ほぼ寝ている間に緊張も無く治療を受けていただけます。



■所在地：水戸市城南2-15-30

■電話：029-225-1081

■診療受付時間：午前9:00～13:00 午後14:00～18:00

■休診日：木曜・日曜・祝日

(祝日のある偶数週の木曜日は診療いたします)

地域連携 だより

地域連携機関の皆さま方には当院の地域連携に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、患者さまにおかれましても常日頃ご支援をいただき、誠にありがとうございます。地域連携だよりのコーナーでは当院の情報をお知らせいたしますので、今後とも宜しく願いいたします。

各診療科のご紹介



血管外科

ねもと まさる
医長 根本 卓

血管外科は聞き慣れない科だと思いますが、心臓血管外科の一部門です。全身のすべての臓器には血管が走行しており、成人において、その距離約10万kmとも言われ、地球2周半の長さに相当します。この全身に張り巡らされた血管が正常に機能しないと、当然色々な障害を引き起こします。血管外科は、その名の通り「血管」を対象とするために、必然と取り扱う疾患は広くなります。

よく耳にする病気としては、胸部や腹部の大動脈瘤、手や足の血の巡りが悪くなる閉塞性動脈硬化症、下肢静脈瘤、リンパ浮腫等です。動脈瘤が破裂すると生命に直結し、下肢静脈瘤を放置すると足の見た目が非常に悪くなります。他にも、内臓動脈瘤、バージャー病、膠原病等々、取り扱う疾患を数え上げると切りがありません。

現在、高齢化社会を迎え、高血圧・糖尿病・脂質異常症等の生活習慣病や人工透析の増加とともに、動脈硬化の患者が急増しています。あまり知られていませんが、重度の下肢の動脈硬化（重症虚血肢）を放っておくと、生存率は3年で63%と言われており、これは約3人に1人が動脈硬化により命を落とす計算になります。胃癌や大腸癌等の消化器の癌よりも生命予後は悪いと言われています。つまり、**動脈硬化は血管の癌といっても過言ではありません**。もちろんこれらの動脈硬化性疾患に対し早期に治療を介入すれば、生活の質は劇的に向上します。

当科では、大動脈瘤に対しては開腹や開胸をせずに、血管内治療で小さな傷で治すステントグラフト内挿術を症例に応じて選択し、動脈硬化や下肢静脈瘤に対しても局所麻酔下での血管内治療を積極的に行っており、治療の低侵襲化を図っています。これにより、早期の自宅退院、職場復帰が可能となっています。もちろん緊急度の高い動脈瘤破裂や急性動脈閉塞症、透析シャントトラブル等にも従来通り緊急対応をしています。

何でも結構ですので、動脈・静脈などの「血管」に関して悩んでいる事がございましたら、いつでもご相談下さい。

—第17回—

「がん遺伝子パネルと オーダーメイド治療」

茨城県立中央病院
茨城県地域がんセンター

よし かわ ひろ ゆき
病院長 吉川 裕之



プレジジョン・メディシン(Precision Medicine)は、2015年1月にオバマアメリカ合衆国大統領がPrecision Medicine Initiativeとして発表したことで注目されるようになりました。プレジジョン・メディシンとは、患者の個人レベルで最適な治療方法を分析・選択し、それを施すことをさしていますが、具体的には、最先端の技術を用い、細胞を分子レベルで分析し、適切な薬を投与し、治療することです。(高精度)個別化医療、オーダーメイド治療とも表現され、現段階ではがん診療を中心に始まっています。

このプレジジョン・メディシン(オーダーメイド治療)を診療ガイドラインの標準医療の対局に置き、診療ガイドラインが一変するような説明がされることがありますが、それは間違いだと考えます。標準医療の対象グループが細分化されるというべきでしょう。個別化とはいえ、特定の遺伝子異常を持った小集団に分けた治療戦略になっていくことが期待されているのです。

今年度にがん遺伝子パネル検査が承認され、夏までには一部で保険適用されるとのことでよいよプレジジョン・メディシンが本格化しようとしています。ただ、保険適用の対象は限られ、標準治療では効果が得られない人に限られるだろうと予想されています。過大な期待は持てる状況ではないことも覚えておかねばなりません。現段階では検出される遺伝子変異に対応する分子標的薬等の治療法は一部しか開発されていないので、現状では、プレジジョン・メディシンの恩恵が受けられるのは一部の患者さ

んなのです。網羅的に遺伝子異常を見つけるこの遺伝子パネル検査に先駆けて、一つの分子標的薬に対応する遺伝子異常を見つけるためのコンパニオン診断のほうは、肺がんや乳がんなどですでに広く行われています。

がん遺伝子パネル検査とは、少量のがん組織臨床検体を用いて、患者さんのがんの診断や治療に役立つ情報を得るために一度に多数(数十～数百種類)の遺伝子変異の有無を一括して検出する検査です。これまでの「がん」の治療は、主に、発症臓器(たとえば肺、肝臓、胃など)及び組織型(たとえば腺がん、扁平上皮がんなど)に基づく分類をもとに、治療法の選択が行われてきましたが、これに遺伝子異常という分類が加わり、臓器横断的分类がなされようとしているのです。近い将来、肺がんとか胃がんとか呼ばずに、遺伝子異常の種類で呼ばれる時代が来るかもしれないのです。

がん遺伝子パネルで、特定の遺伝子異常が見つければ、その異常に対応した適切な治療の選択肢を示せる可能性があります。がん遺伝子パネル検査を実施しても、現存する治療薬の選定に有用な情報が何も得られない可能性もあります。また、遺伝子検査の結果に基づいて治療を行っても、十分な治療効果が得られないこともあります。

以上のようにがん治療が新しい時代に入り始めたことは確かですが、プレジジョン・メディシンが一般診療になるのにはもう少し時間がかかりそうです。しかし、がん患者さんにとっても、医療人にとっても、この時代の変化に注目してゆく価値はありそうです。



看護週間(5月21日~27日)を開催しました

今年も認定看護師による個別相談会(例:からだ
と心のつらさを軽減、化学療法って何?、尿トラブル
をサポートなど)を行い、専門的な知識をもつ看
護師が日頃の不安や疑問にお答えしました。

小さな音楽会を開催しました

5月30日に当院レストランホールにてメゾソプ
ラノ歌手新宮由理さん、ソプラノ歌手森美佳さ
ん、ピアニスト芦沢真理さんによる小さな音楽会
が開かれました。懐かしい日本の歌の四季のメド
レーなどを披露いただき、心癒される楽しいひと
時を過ごすことができました。



ご意見箱から

- 正面前の障害者用パーキングから玄関へのスロープが、いまま少し緩い坂にお願いしたい。なかなか大変です。足が弱ってくると、手の力もなくなります。誰にでもやさしい社会にしたいですね。
- ご指摘の身障者等用駐車場のスロープはバリアフリー法に基づき勾配角度「1/12」となっておりますが、今後、身障者等用駐車場の改修工事を計画しておりますので、当該スロープの傾斜角度についても併せて検討させていただきます。この度は、貴重なご意見をありがとうございました。

ドクターズ・クラーク(医師事務作業補助者)の募集

募集人員：5名程度
雇用期間：採用から2020年3月31日まで
契約更新有り(条件有り)
業務内容：医師が行う事務作業の補助をする業務
です。
電子カルテへの診察記録の代行入力
診察に関するデータの抽出、作成
各種保険の診断書や証明書などの作成
代行
カンファレンスの準備及び資料・議事
録の作成など

必要経験：医事業務の経験等があることが望まし
いが、未経験者でも可。パソコンスキ
ル(エクセル・ワード)
賃 金：時給1,141円、他に賞与あり
(院内保育所:空きがある場合は利用可)
勤務時間：原則9:00~16:00(週29時間勤務)

多くの女性スタッフが活躍中!
仕事と家庭の両立もサポート。

ご連絡先:事務局総務課 黒澤
☎0296-77-1121(内線2024)

茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター

〒309-1793 茨城県笠間市鯉淵6528 ☎0296-77-1121 ホームページ <http://www.hospital.pref.ibaraki.jp/chuo/>